

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すてっぴ1		
○保護者評価実施期間	2024年 11 月 1 日		～ 2025年 10 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2024年 11 月 1 日		～ 2025年 10 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10 月 28 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	男女ともにスタッフが充足しており、対応範囲が広い。	スタッフの充足率が高く、またそれぞれの職経歴より幅広いニーズの受け入れが可能。児童様の適正を見て人員配置、支援のアプローチなどを臨機応変に行うよう心がけている。スタッフが児童と関わる時間も多く取れる。	内部共有に加え、外部研修などを通じてスタッフ対応力やプログラムの幅を広げていくよう、取り組んでいる。
2	OT的な製作が充実している	細かい作業やはさみ作業のサポートを手厚く配置している。	製作活動が一律の製作物になる中で、年齢層の幅もある為、各児童様にとっての難易度が異なっている。低学年、高学年、発達問わず充実感を得られる提案に取り組んでいる。
3	保護者様ニーズ、児童様のニーズに対する支援対応の積極性	児童様との対話、傾聴に力を入れており、リスクマネジメントを行った上で可能な限り個々の希望に沿う活動を行っている。月に1回の季節に応じたイベントを実施し、様々な体験が出来るよう工夫している。	関係機関との連携を強化、共有機会の場を設けて、更にニーズや強みの引き出しが出来るよう、努めたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全体共通活動プログラムに関し	日々の生活支援を放課後と言う限られた時間で支援する中で、平日だと年齢層や在住地域も踏まえ、下校時刻にも時間差があり、集団プログラムの実施が難しい事が多い。また、個々のニーズに応える事や、主体性の尊重に注力する中で、特定プログラム以外の全体一律の活動に時間配分出来かねる事がある。	短時間の集団活動等をなるべく多く取り入れる。
2	日々の小イベントに関し	同上の理由となるが、日々の生活支援を放課後と言う限られた時間での支援で、平日だと年齢層や在住地域も踏まえ、下校時刻にも時間差がある事で、細かくイベントを行えない事もある。	短時間の集団活動等をなるべく多く取り入れる。
3	デイ全体を通しての年齢層が広い	様々な年齢層の関わりの中でそれぞれに役割を与えていくメリットを感じる一方で、年少者向けのプログラムとなると高学年の児童様はお世話役になる事がある。また反面、年少者向けのプログラムばかりにならない事がある。	様々な年齢の関わりは基本メリットとも多いと感じています。より良い支援をデイ全体にフィットさせる為に、スタッフの充足を活かした小集団活動の実施 集団活動の中に各児への役割を与え、活動全体の整合を取る。年代別プログラムの別途実施。などを随時検討します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すてっぷ1

公表日 2025年11月1日

利用児童数 21世帯 23名

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2		4		地域の児童が集まる公園や、地域イベントには積極的に参加しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	2	3		ペアレントトレーニングやそれ以外の研修も現状は僅かとなっています。検討しております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19				すぐ丁寧で素晴らしいです。	保護者様、関係機関様と連携を取りながら今後も全体で支援を考え、実践して参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17			2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				子供達が喜んでいて、職員さんは良い人ばかりです。	職員一人一人が児童様に寄り添った支援が行えるよう、人員と環境を整えて参ります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	9	3	3	4		過去にもご家族様、保護者様同士がお顔合わせするイベントも実施はしておりますが、現状は多くのイベントを行えてはならず、随時検討している状況です。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17				2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	2			にて送付しています。必要に応じ、LINEやインスタグラムなどでも案内する事もあります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	5		2	マニュアルは各種作成し、デイ内でご案内、内覧もいつでも可能です。日頃から要所で周知して頂く為の案内を検討しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	4		4	防災、避難訓練は法定訓練を含めて年間を通して随時実践しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19				いつも子供からすてっぶ1の名前が出るぐらい楽しみな様子。安心出来る場所である事を大切に考えながら、メリハリをつけた支援を心がけて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すてっぷ1				公表日	2025年11月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・人数に応じた遊び方の提案。 ・遊ぶ区間を間引きを行う。 ・状況と支援内容により、別室を開放する。	定員に対して支援室の広さは適切ではあるが、おもちゃが広がると狭く感じる事もあるので工夫して支援にあたる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		ドライバーや有資格者の確保など、基本運営の常勤を確保しながら、非常勤スタッフの雇用にて全日充足した配置を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者様から返却された評価表に目を通す、随時頂くご意見に応えられるよう全体で検討を朝礼や、支援会議を通して常に改善を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	どのような活動をするかはチームと言うより事業所全体で話し合っって立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			現在事例はまだ無いが準備は整えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1		保護者交流の会は設けているが回数が少ないのできょうだい同士の交流も踏まえて検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			マニュアルは各種揃えており、お応えしているが定期的に周知する機会が必要であると感じる事がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			所定訓練は必ず行っているが曜日、タイミングにより全児童様に訓練に参加出来ない児童様もいる。スケジュールや内容を凝縮して行う短時間プログラムなども検討したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			外部講師研修を活用。事業所内でも所定回数に関係なく、随時実施している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				